

目 次

研 究 論 文	一方向凝固させたAl-17%Si-25ppmP合金鑄塊における初晶Si相の微細化 森中真行, 豊田充潤	185
	消失模型鑄造法におけるアルミニウム合金溶湯の湯流れ速度に及ぼす 塗型通気度の影響 頃安貞利	192
~~~~~		
技 術 報 告	ワイブル解析を用いたアルミニウム合金ダイカストの 破断チル層対策プロセスの評価 柴田悠矢, 深澤恵太, 吉田 誠, 大池俊光, 野中直樹, 小池貴之, 大城直人, 北岡山治 .....	198
現 場 改 善	プランジャーチップの寿命伸長による採算向上 長尾行雄 .....	205
解 説	アルミニウム合金ダイカストの機械的特性へのワイブル解析の適用方法 柴田悠矢, 深澤恵太, 吉田 誠, 大池俊光, 野中直樹, 小池貴之, 大城直人, 北岡山治 .....	209
~~~~~		
随 想	北九州における産業技術史調査研究 ～「北九州における鑄造技術の歴史と発展」の紹介～ 恵良秀則	214
インタビュー「鑄物人」	216
シリーズ「海外生活体験レポート」	218
Y F E だより	220
ズバリ回答・・・今さら聞けないこんなこと	221
学会関連行事日程／次号予定	230
編 集 後 記	231
鑄造品生産量推移	232
会 告		

紙の 写 真



～第88巻表紙シリーズ「鑄物の産地の今」～

表紙の写真：「キューポラのある街」埼玉県川口市
 コメント：「キューポラのある街」として全国的に知られている埼玉県川口市は、古くから地場産業として鑄物工業が発達し、中世末期には鑄物が製造されていました。江戸・東京といった大消費地に隣接し、荒川や芝川から産出する良質な砂粘土が鑄型の製造に有利であったこと、運搬・労働力の面でも恵まれていたことなどで、川口に鑄造業が発展・定着したと言われています。主な製品は小型神仏具・鍋・釜・鉄瓶といった生活用品が主流でしたが、大正から昭和にかけて技術革新の成功により、川口の鑄物は諸産業機械の部品・パーツに関わ

る製品の大量生産へと転換していきました。日本の高度経済成長を支えた重要な地域の一つです。近年は産業の空洞化や賃金の安価な諸外国との競争など、様々な問題に直面し、生産を中止し、マンションや駐車場に変わる工場が増え、昔の面影はすっかりなくなりました。

表紙の写真は、川口駅前に立つ鑄物の像です。また、川口市立文化財センターには鑄物資料室があり、鑄物の歴史や数多くの鑄物が展示されています（左上写真）。